

第5次北九州市男女共同参画基本計画

さまざまな取り組みを進めていきます

柱1 ジェンダー平等が浸透した社会の実現

- ジェンダー平等社会の実現に向けた理解の促進
- 男性にとってのジェンダー平等の推進
- 子どもの頃からのジェンダー平等の理解の促進

男性が洗濯をするCM。メディアの影響も大きいですね

安河内さん

男性向けの講座も開催しています!

男女共同参画センター・ムーブ (小倉北区大手町、☎583・3939)

料理講座「エプロン男子」

柱2 あらゆる分野の方針決定過程への女性の参画拡大

- 企業における方針決定過程への女性の参画拡大
- 地域における方針決定過程への女性の参画拡大
- 市における方針決定過程への女性の参画拡大
- 政治分野への女性の参画拡大

北九州市女性団体連絡会議 会長 大河内哲子さん

地域で女性が活躍していくために

男性も女性もですが、地域のことに全部に関わる必要はなくて、自分の得意分野や関心のあることに参加すると思います。それが広がっていくことで、みんなの意識も変わっていくんじゃないかな。そこで女性にアドバイスするとしたら、いつ何を尋ねられても遠慮せず、自分の意見をはっきりと伝えてほしいということです。そして、私たち女性団体の活動でも大切にしている事ですが、どんな活動でも企画段階から男女が共に関わるのが大事だと思います。

柱3 女性が多様に活躍できる経済社会の実現

- 女性の就業・起業支援
- 女性が働き続けることができる環境づくり支援
- 女性の再就職支援

濱西さん

詳細は5ページ「子育て応援!ミニコーナー」をご覧ください

「ウーマンワークカフェ北九州」をご利用ください

子育て世代からミドル世代女性の「はたらく」を応援! (小倉駅北側(AIMビル2階)、☎551・0092)

「北九州市をもっと愛されるまちに」することを目指し、女性の視点から市政へのアイデアを提言してもらう新たなプロジェクトが生まれました。

政策局政策課 ☎582・2302

▲公募や推薦で決定した学生・会社員・専業主婦などのメンバー

柱5 安心して健康に暮らせる社会の実現

- DVの防止及び被害者の支援
- ハラスメント及び性犯罪等の防止
- 生涯を通じた女性のヘルスケア
- 困難を抱えた女性等が安心して暮らせる支援
- 防災における男女共同参画の推進

身体的暴力だけがDVではありません

近年増加するDVは、自分がDVを受けていると気付かずに、我慢してしまう人が多いといわれています。

DVの例

- 日常的に子どもにパートナーの悪口を吹き込む
- スマートフォンや行動を細かくチェックする
- 生活費を渡さない など

DV被害に遭った時の相談先 (複数回答)

相談先	割合(%)
友人・知人	24.0
家族・親族	23.0
警察・相談窓口・医療従事者など	13.7
どこ(だれ)にも相談しなかった	49.9
その他・無回答	9.3

「どこ(だれ)にも相談しなかった」の回答が約半数!

資料:「北九州市の男女共同参画社会に関する調査」令和4年

皆さんが一人で抱えている悩みもDVに該当するかもしれません。気軽にご相談ください。

【北九州市配偶者暴力相談支援センター】

☎591・1126

火～金曜日 9時30分～20時
土・日曜日 9時30分～17時
※いずれも祝・休日は除く

各区役所子ども・家庭相談コーナーでも相談を受け付けています

柱4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

- 男女が共に仕事と生活を両立できる社会の実現
- 多様なライフスタイルに対応した子育てや介護等の支援の充実

新しい働き方は「誰もが気兼ねなく使えること」で定着する

大淵さん

当社は、柔軟な働き方の選択肢としてテレワークやフレックスタイムが定着しています。ITなどハード面の環境が整っているということもありますが、特別な申請などをする必要がないため誰もが気兼ねなく利用できるようになりました。ルールさえ決めれば、社員同士のコミュニケーションもしっかりと取れます。

時間を有効に使えるから残業も減り、オンとオフのメリハリがつくようになりました。仕事の成果はむしろ上がっていると感じています。

※(株)YEデジタル(北九州イクボス同盟加盟)は、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰市長賞」「福岡県男女共同参画表彰」を受賞しています。

おかげで子どもたちとの時間を作ることができています

男性も仕事と育児を両立できる社会へ

男性の育児休業取得は、男性が育児に積極的に参画することを通して、男性自身の働き方を見直すきっかけとなるほか、職場全体の業務等の改善にもつながることが期待できます。

男性の育児休業の取得について

	肯定派	否定派	わからない・無回答
男性	80.1	8.0	11.9
女性	81.8	8.5	9.6

資料:「北九州市の男女共同参画社会に関する調査」令和4年

男性自身や自分の夫が育児休業を取得することに肯定的な考えは、男女ともに8割を超えています

多様性 基本計画 活動 実現

SDGs ロールモデル

ジェンダー平等

女性活躍 女性活躍推進法 女性活躍推進法 女性活躍推進法

アンコンシャスバイアス

ワーク・ライフ・バランス

ネットワーク 職業選択

A

男の子とは限りません!

女性ばかりとは限りません!

夫ばかりとは限りません!